

20. 恐ろしい経験でしたが子供たちを守りました

金恩英 41歳 教員 新宿区在住

- どこに誰といましたか。

私は、娘と息子が在学している学校で教師として働いています。地震のときは、勤め先の新宿区若松町にある東京韓国学校にいました。生徒たちは帰宅していたので、1人、教室で仕事をしていました。地震が発生したので、同じ階の同僚の先生たちと、非常口を通じて校庭に避難しました。

- 韓国学校3年在学中であった、双子のお嬢さんと坊ちゃんはどこにいましたか。

地震が起きたのは放課後で、娘は校舎の地下にある教室で韓国古典舞踊の特別授業を受けていました。そのときは、古典舞踊の先生が娘たちと一緒にいました。そこで、同じ校舎にいた私と娘はすぐ合流することができました。一方、息子は特別活動をしていなかったため、徒歩10分ほどの自宅に帰っていました。幸い、大学勤務の夫がそのときは在宅していました。自宅は、鉄骨38階建マンションの4階です。

地震が収まってすぐ、夫が息子と一緒に韓国学校に来て、18時ごろまで家族4人が一緒にいました。それから夫と子供たちが帰宅し、私は他の生徒さんの面倒や安全確保などに携わり、23:30ごろ徒歩で帰宅しました。

- 自宅に被害はありましたか。

特に被害はありませんでした。管理人さんの話によると、マンションの外壁のタイルが落ちたり、ひびが入ったりした被害はあったそうです。

- 最後にひとこと。

初めて自然災害の怖さを実感しました。地震を経験してからは、非常食など、災害に備えてきちんと準備しなければならないと考えましたし、そのように行動するつもりです。地震当時、息子は泣き出しそうでしたが、その後は2人とも元気で、特にトラウマなどはありません。

2011年7月6日